



京都大学が創設されたのは、明治30（1897）年で、その後約10年をかけて、理工科大学、法科大学、医科大学、文科大学を設置し、総合大学としてのかたちを整えました。そして大学の発展とともに、理工科大学を理学部と工学部に分け、経済学部、農学部を設置し、昭和24（1949）年新制大学となった後に教育学部、薬学部をつくり、さらに平成4（1992）年には、教養部を改組し総合人間学部を発足させました。

平成4年からは、それまで学部中心の大学であったものを大学院を中心にした大学組織に改組するとともに、新しい大学院独立研究科として、人間・環境学研究科、エネルギー科学研究科、アジア・アフリカ地域研究研究科、情報学研究科、生命科学研究科、さらに、地球環境学堂・学舎を設置、法人化後、公共政策連携研究部・教育部、経営管理研究部・教育部を設置し17大学院、10学部、13附置研究所、25教育研究施設、6機構等を数える組織となりました。

平成9（1997）年京都大学は創立百周年を迎え、同16（2004）年には、国立大学法人京都大学となり、現在5,400名の教職員、23,000余名の学生を抱える巨大な組織へと発展し、地球社会の調和ある共存に寄与するため、優れた人材の育成と学術の発展に貢献しております。

このような大規模で多様な教育・研究・社会貢献の京都大学の現状を分かりやすく皆さまに説明するために、毎年「京都大学概要」を発行してきました。

また、京都大学ホームページ（<http://www.kyoto-u.ac.jp/>）では、最新の大学の情報を迅速に発信しております。

さらに、大学の動きを見ていただくため、あらゆる種類の窓を開けようと考えていますが、メールマガジンもそのような窓の一つで、入試のこと、同窓会のこと、公開イベントのことや、研究成果などをホームページのニュースとリンクさせながらお知らせしています。

京都大学は、創立百十年を迎えたいま、「自由の学風」を継承発展させる努力をしております。このことは、今後も独創的な研究成果を生み出し、知の時代に相応しい人材を育成し、未来を拓く研究を発展させて、大学の社会的使命を達成するものと考えております。

平成19（2007）年8月

京都大学総長 尾池和夫